

東京都無料匿名検査機関におけるHIV検査結果の解析（2019年～2023年）

北村 有里恵^a, 河上 麻美代^b, 小泉 美優^a, 伊藤 仁^a, 黒木 絢士郎^a, 浅倉 弘幸^a, 根岸 あかね^a,
横田 翔太^a, 岩崎 直哉^a, 林 志直^a, 磯貝 まや^a, 九澤 香織^a, 赤瀬 悟^a, 長島 真美^a, 貞升 健志^c
(外部機関査読者: 安井 善宏^d)

2019年から2023年までの5年間に、東京都新宿東口検査・相談室から東京都健康安全研究センターに搬入されたHIV検査検体を対象に検査数ならびに検査結果を集計、解析した。その結果、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）発生以前の2019年の検査数と比較して、2020年～2022年の検査数は一時的に減少したが、2023年には2019年と同程度の検査数に戻っており、都内のHIV検査数にCOVID-19の流行が影響していたことが示唆された。また、検査受検者における年齢別の比較では、男性は20歳代と30歳代で検査数全体の60～70%、女性では20歳代が50%を占めていた。5年間の陽性数は、男性が370件、女性が4件と男性での陽性例が多く、男性では特に2021年の陽性率が1.16%と最も高かった。一方、行動制限を伴う感染防止対策がとられたCOVID-19の流行下においても東京都新宿東口検査・相談室の検査数は、年間10,000件以上を維持し、東京都における無料匿名HIV検査の中心的な役割を示した。今後のHIV/AIDS撲滅のためには、無料匿名検査機関におけるHIV検査体制の充実や相談事業の継続、推進は重要なキーポイントとなると考えられた。

キーワード： HIV検査、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）、無料匿名HIV検査

はじめに

ヒト免疫不全ウイルス（Human Immunodeficiency Virus；HIV）は、CD4陽性T細胞への感染・破壊を通じ免疫機能の低下を引き起こし、後天性免疫不全症候群（Acquired Immunodeficiency Syndrome；AIDS）を発症させるウイルスである。

1981年にアメリカでAIDS患者が報告されて以来、全世界の新規HIV感染者数は、1995年に320万人に達したが、2022年には新規HIV感染者数は130万人となり、1995年の感染者数に比べて59%まで減少した¹⁾。日本においては、2008年に新規HIV感染者数が1,126件と最多の報告であったが、その後減少していき、2022年は632件が報告されている²⁾。

様々なHIV治療薬が開発され、HIVに感染しても早期に治療を開始することでエイズの発症を抑えられるようになったことから、早期発見と治療のためにもHIV検査を受けることが重要である。全国の保健所等では無料・匿名でHIV検査を実施しており、6月のHIV検査普及週間や12月1日の世界エイズデーには、利便性の高い場所や時間帯に配慮したHIV検査の機会を提供している。

東京都では、1987年から都内保健所でHIV検査・相談を開始した³⁾。その後、1993年に東京都南新宿検査・相談室（現、東京都新宿東口検査・相談室 以下、新宿東口検査室）、2005年に東京都多摩地域検査・相談室（以下、多摩地域検査室）を開設し、HIV検査・相談事業を

推進してきた。東京都健康安全研究センターでは、新宿東口検査室、多摩地域検査室および都保健所からは行政検査として、市および特別区保健所からは依頼検査として搬入された血液検体のHIV検査を実施してきた。

全国の保健所等が実施するHIV検査数は、2008年には177,156件あったが、その後は減少し、近年は年間約130,000～150,000件のまま横ばいを示している²⁾。また、2020年に大幅に検査数の減少が見られたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行による影響が考えられた²⁾。

東京都（区保健所、都保健所、新宿東口検査室、多摩地域検査室）のHIV検査数は、2008年に31,345件であった⁴⁾。その後も、年間24,000件～29,000件で推移し、2019年には32,016件と、2008年以来の30,000件を超える報告だった。しかし、全国のHIV検査数と同様に、2020年は17,370件まで減少した⁵⁾。

今回、東京都のHIV検査数の約4割を一施設で担う新宿東口検査室に注目し、2019年から2023年までのCOVID-19流行期間を含む5年間に、新宿東口検査室から搬入された検体を対象とし、男女別、年代別の検査数、HIV陽性数の推移等を解析し、一定の知見を得たので報告する。

実験方法

1. 供試材料

^a 東京都健康安全研究センター微生物部ウイルス研究科
169-0073 東京都新宿区百人町3-24-1

^b 東京都健康安全研究センター微生物部食品微生物研究科

^c 東京都健康安全研究センター微生物部

^d 愛知県衛生研究所

2019年から2023年までの5年間、新宿東口検査室においてHIV検査目的で採血し、当センターでHIV検査を行っ

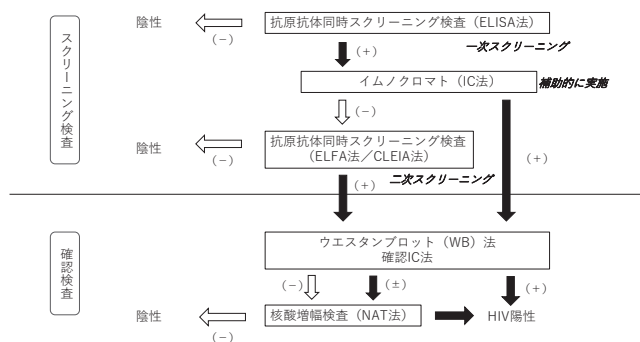


図1. 東京都健康安全研究センターで実施しているHIV検査の概要

たヒト血液検体57,628件及び受験者情報（性別、年齢）を対象とした。

2. HIV検査の概要

図1に示す既報⁶⁾に従った検査フローに沿ってHIV検査を実施し、結果を判定した。

1) スクリーニング検査

スクリーニング検査はELISA法試薬（ジェンスクリーンAg-Ab ULT：パイオラッド）により実施し（一次スクリーニング検査）、陽性の場合には、補助的検査としてIC法（ダイナスクリーン・HIV Combo：アボット ダイアグノスティクス メディカル）を行った。IC法陰性の場合には、感染初期または一次スクリーニング検査の偽陽性の可能性があるため、ELFA法試薬（バイダスアッセイキットHIVデュオII：ビオメリュー・ジャパン〔～2022年11月〕）または、CLEIA法試薬（ルミパルスHIV

Ag/Ab：富士レビオ〔2022年12月～〕）による二次スクリーニング検査を実施した。陰性の場合にはスクリーニング検査陰性と判定し、陽性の場合には確認検査を行った。

2) 確認検査

抗体確認検査はウエスタンブロット（WB）法試薬（ラブ・プロット1およびラブ・プロット2：パイオラッド〔～2022年3月〕）または、確認IC法試薬（Geenius HIV 1/2キット：パイオラッド〔2022年4月～〕）を用いて実施した。抗体確認検査で陰性または判定保留になった検体は、核酸増幅検査（NAT法／コバスTaqMan HIV-1「オート」：ロシュ・ダイアグノスティクス社〔～2020年7月〕）、アプティマHIV-1：ホロジックまたはVirus test kit（HIV, HTLV, HCV, HBV, ParvoB19）Ver.2：タカラバイオ〔2020年8月～〕を行い、結果の判定を行った。

結果および考察

1. 年別および月別検査数の推移

新宿東口検査室のHIV検査数を表1に示した。2019年には12,897件であった。国内でCOVID-19感染者が確認された2020年は10,691件で、2019年に比べて2,206件減少した。引き続きコロナ禍であった2021年、2022年もそれぞれ10,422件、10,869件と横ばいの件数であった。その後、2023年5月にCOVID-19が感染症法上の位置付けが5類に移行すると⁷⁾、2023年の検査数は12,749件に増加し、コロナ禍前の2019年と同様の検査数となった。

2019年は各月の検査数が1,000件を超える月がほとんどであった。一方、2020年は1月を除く全ての月で検査数が1,000件を下回っており、特に4月と5月は700件台にとどまり、4/7～5/25に日本政府が発令した緊急事態宣

表1. 新宿東口検査室の月別・男女別検査数（2019～2023年）

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年	男	805	748	847	724	665	861	893	788	765	668	785	805	9,354
	女	297	284	305	267	217	427	295	279	248	258	319	347	3,543
	計	1,102	1,032	1,152	991	882	1,288	1,188	1,067	1,013	926	1,104	1,152	12,897
2020年	男	734	661	711	597	582	557	679	711	643	717	626	624	7,842
	女	271	222	239	144	126	283	225	241	245	268	314	271	2,849
	計	1,005	883	950	741	708	840	904	952	888	985	940	895	10,691
2021年	男	639	603	615	672	658	714	680	648	635	701	647	664	7,876
	女	176	196	207	205	157	311	179	178	196	214	302	225	2,546
	計	815	799	822	877	815	1,025	859	826	831	915	949	889	10,422
2022年	男	630	628	690	647	629	738	742	704	663	754	810	758	8,393
	女	157	178	213	202	176	299	199	195	194	172	248	243	2,476
	計	787	806	903	849	805	1,037	941	899	857	926	1,058	1,001	10,869
2023年	男	758	739	840	838	788	927	903	818	772	880	857	875	9,995
	女	189	226	303	267	213	342	197	217	185	197	220	198	2,754
	計	947	965	1,143	1,105	1,001	1,269	1,100	1,035	957	1,077	1,077	1,073	12,749
合計	男	3,566	3,379	3,703	3,478	3,322	3,797	3,897	3,669	3,478	3,720	3,725	3,726	43,460
	女	1,090	1,106	1,267	1,085	889	1,662	1,095	1,110	1,068	1,109	1,403	1,284	14,168
	計	4,656	4,485	4,970	4,563	4,211	5,459	4,992	4,779	4,546	4,829	5,128	5,010	57,628

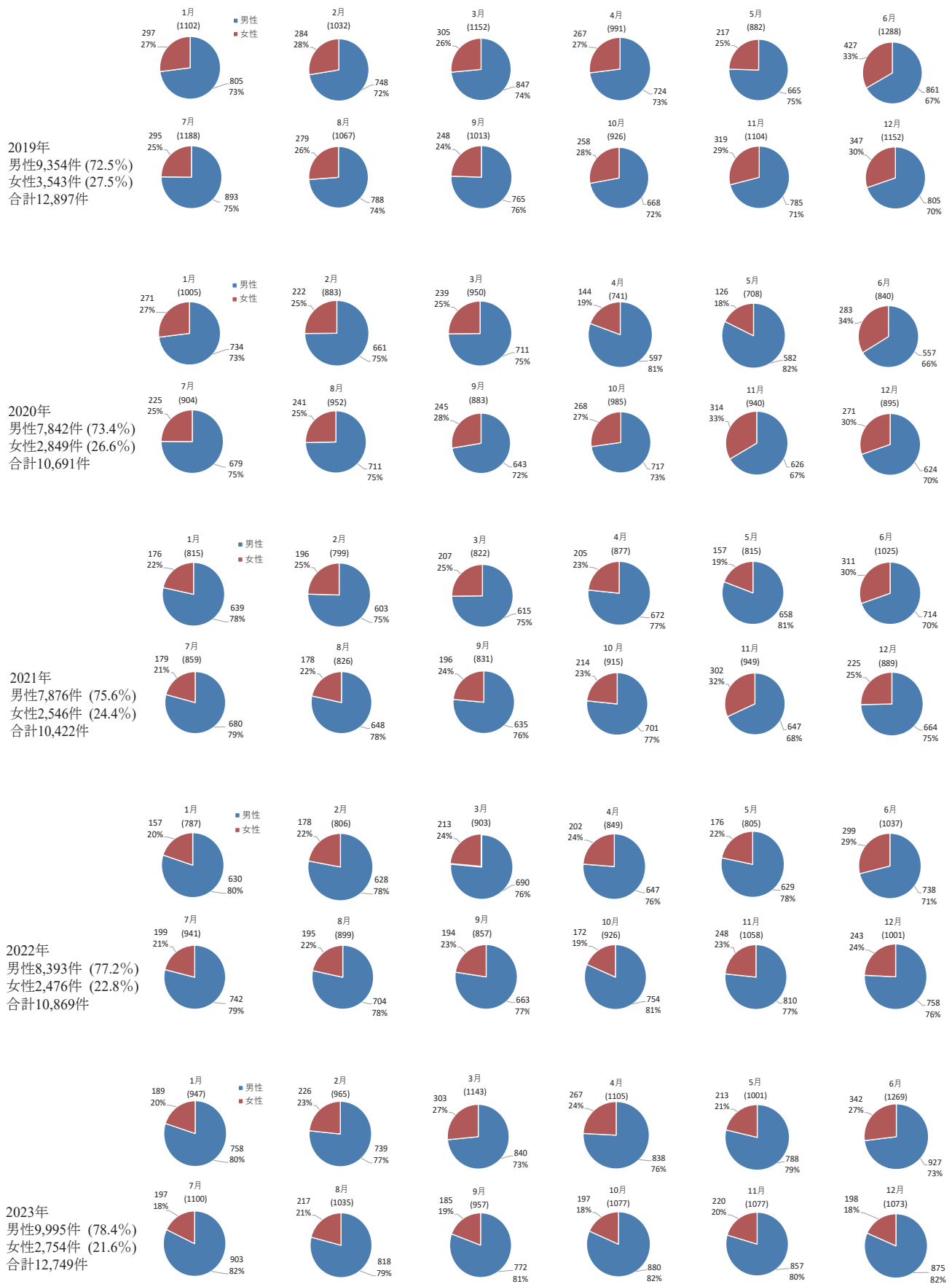


図2. 東京都新宿東口検査・相談室の男女別検査数 (2019～2023年)



図3. 月別にみた東京都新宿東口検査・相談室受検者の年齢と構成 (2019～2023年)

表2. 月別にみた新宿東口検査室受検者の年齢別検査数と陽性数 (2019~2023年)

検査数 2019年

男性	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
10代	8	13	12	6	10	6	17	11	12	25	9	7	136
20代	294	272	308	284	241	265	344	279	274	254	247	253	3315
30代	253	259	280	227	235	248	268	240	246	206	227	249	2938
40代	153	129	158	130	120	216	157	156	134	110	189	166	1818
50代	71	53	65	57	47	99	75	75	75	56	83	105	861
60代	21	18	19	13	8	22	21	22	20	14	23	17	218
70代	4	4	4	7	4	5	9	4	4	3	7	8	63
80代	1	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	5
90代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
陽性	9	2	3	6	6	5	7	5	2	2	7	5	59
検査数 合計	805	748	847	724	665	861	893	788	765	668	785	805	9354

検査数 2019年

女性	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
10代	9	4	10	7	7	20	21	11	8	18	16	7	138
20代	173	169	181	144	128	232	153	159	139	146	186	174	1984
30代	78	72	79	84	59	127	82	82	78	61	78	110	990
40代	29	29	26	28	19	41	28	23	18	28	34	45	348
50代	7	9	7	3	2	6	9	3	2	4	5	8	65
60代	1	1	1	1	1	1	1	1	2	0	0	1	11
70代	0	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	2	7
80代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
陽性	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
検査数 合計	297	284	305	267	217	427	295	279	248	258	319	347	3543

検査数 2020年

男性	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
10代	10	5	13	5	8	4	13	16	10	13	7	11	115
20代	280	251	266	223	221	166	221	253	236	275	228	187	2807
30代	246	223	231	206	196	184	262	250	243	258	191	214	2704
40代	125	114	122	97	111	134	129	127	106	102	131	134	1432
50代	53	49	60	53	37	56	36	58	34	47	54	66	603
60代	19	15	15	12	8	11	15	4	12	19	12	12	154
70代	1	3	4	1	1	2	1	3	2	3	3	0	24
80代	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
90代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
陽性	9	9	9	5	7	5	8	9	4	5	5	3	78
検査数 合計	734	661	711	597	582	557	679	711	643	717	626	624	7842

検査数 2020年

女性	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
10代	11	16	12	2	3	8	9	8	8	12	9	5	103
20代	154	130	137	87	81	160	135	147	150	153	191	144	1669
30代	70	58	58	41	30	88	50	59	64	70	84	82	754
40代	32	16	27	10	10	22	23	20	19	21	20	31	251
50代	4	2	3	3	1	5	5	6	2	10	8	9	58
60代	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	5
70代	0	0	1	1	1	0	2	0	1	1	2	0	9
80代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
陽性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検査数 合計	271	222	239	144	126	283	225	241	245	268	314	271	2849

検査数 2021年

男性	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
10代	7	9	5	12	12	8	6	10	10	10	9	5	103
20代	222	219	243	271	251	229	233	241	254	260	239	182	2844
30代	227	210	211	228	219	197	244	238	208	247	184	212	2625
40代	124	114	99	107	120	176	130	99	106	123	121	149	1468
50代	46	40	43	44	44	86	55	50	43	48	71	88	658
60代	11	10	12	7	9	15	9	9	13	12	21	20	148
70代	2	1	2	3	3	3	1	1	1	2	8	30	30
80代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
陽性	9	7	9	12	10	3	13	11	5	7	3	2	91
検査数 合計	639	603	615	672	658	714	680	648	635	701	647	664	7876

検査数 2021年

女性	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
10代	3	4	5	7	6	13	5	7	10	5	9	2	76
20代	111	118	121	120	92	169	103	104	119	119	189	129	1494
30代	44	50	55	53	47	93	51	50	55	60	69	66	693
40代	15	20	20	24	8	24	15	13	9	25	29	21	223
50代	3	3	5	1	3	12	3	3	3	4	6	6	52
60代	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	4
70代	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4
80代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
陽性	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
検査数 合計	176	196	207	205	157	311	179	178	196	214	302	225	2546

検査数 2022年

男性	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
10代	5	12	12	15	13	10	7	7	10	12	8	5	116
20代	184	215	244	233	226	190	218	226	179	230	224	175	2544
30代	230	224	230	232	219	233	268	230	230	251	231	256	2834
40代	131	106	122	96	106	169	142	160	135	137	184	185	1673
50代	63	57	61	51	53	109	80	66	82	95	131	108	956
60代	15	13	16	18	12	23	24	13	23	23	25	24	229
70代	1	1	5	1	0	4	2	2	3	5	7	4	35
80代	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	5
90代	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
陽性	8	7	9	4	2	2	7	5	4	5	6	7	66
検査数 合計	630	628	690	647	629	738	742	704	663	754	810	758	8393

検査数 2022年

女性	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
10代	3	4	6	3	4	12	5	1	3	4	10	4	59
20代	80	107	121	122	82	159	106	117	105	91	123	123	1336
30代	53	51	60	54	67	94	64	55	60	56	78	78	770
40代	14	11	22	19	11	26	17	18	18	14	30	29	229
50代	7	5	3	4	11	7	7	3	7	7	6	9	76
60代	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3
70代	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
80代	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
陽性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検査数 合計	157	178	213	202	176	299	199	195	194	172	248	243	2476

検査数 2023年

男性	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
10代	10	6	6	10	10	7	14	9	6	12	6	5	101
20代	242	222	228	245	249	224	249	226	224	284	251	209	2853
30代	238	235	292	260	249	279	280	273	236	281	251	274	3148
40代	138	158	181	176	153	212	186	197	167	175	181	188	2112
50代	97	82	102	112	95	171	131	89	102	97	127	156	1361
60代	26	26	27	32	27	28	32	21	32	27	36	38	352
70代	6	8	3	3	4	6	10	2	4	4	5	5	60
80代	0	2	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0	7
90代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
陽性	1	7	4	7	4	4	12	6	3	11	9	8	76
検査数 合計	758	739	840	838	788	927	903	818	772	880	857	875	9995

検査数 2023年

女性	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
10代	7	5	8	3	7	5	6	2	3	1	6	3	56
20代	101	123	157	142	121	160	106	119	93	96	99	87	1404
30代	49	62	92	77	59	114	59	58	58	70	71	73	842
40代	19	28	41	32	18	44	20	28	18	24	31	28	331
50代	11	7	4	12	8	17	6	8	13	6	10	6	108
60代	1	0	1	1	0	2	0	2	0	0	2	1	10
70代	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
80代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
陽性	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
検査数合計	189	226	303	267	213	342	197	217	185	197	220	198	2754

言の影響を受けたものと考えられた⁸⁾。2021年は、2020年と同様に検査数が1,000件を上回ったのは6月のひと月のみで、その他の月は1,000件を下回っていた。東京都では2021年1/7～3/21, 4/25～6/20, 7/12～9/30の期間に緊急事態宣言が出されていた⁸⁾。この期間は行動の自粛が求められており、2021年の検査数が回復しなかったと考えられた。

2022年は1,000件を上回ったのは6月、11月、12月で、その他の月は1,000件を下回っていた。2022年は感染力の強い変異株（オミクロン株）の出現や行動規制が緩和されたことよりCOVID-19の感染者数が急激に増加した⁸⁾。COVID-19に対する警戒感が強く、HIV検査の受検に対しても少なからず影響を与えたことが示唆された。

一方、2023年1月、2月、9月は検査数が1,000件を下回ったが、他の月は1,000件を上回った。2023年5月にCOVID-19は感染症法上の5類に位置付けられ、感染拡大防止と社会経済活動の回復の両立を進める政府方針の下、政府が一律に感染対策を求めるのではなく、個人・事業者の判断を基本として、平常時の社会活動に戻っていった⁸⁾。活動が徐々に戻っていったことが検査数回復の一因として考えられた。

東京都では、毎年6月に東京都HIV検査・相談月間を、11/16～12/15に東京都エイズ予防月間を設定し、HIV検査の拡充などに取り組んでいる。東京都エイズ予防月間は11月、12月にまたがるため評価は難しいが、6月の東京都HIV検査・相談月間に注目してみると、2020年をのぞき、他の年の検査数は1,000件を上回っていた。2019年、2021年、2023年は1番目に、2022年は2番目に多い検査数であり、COVID-19流行下であっても検査普及推進の効果があったことが示唆された。

2. 男女別検査数の推移

2023年の男女別の検査数では男性9,995件、女性2,754件であり、2019年の検査数（男性9,354件、女性3,543件）と比較すると、男性では641件の増加がみられたが、女性は789件減少しており、全体の検査数は回復した（図2）。

受検者数に占める女性の割合に注目すると、2019年6月（33%）、11月（29%）、12月（30%）は2019年の年間割合よりも高かった（図2）。2023年11月、12月をのぞき、2020年以降の6月、11月、12月は年間割合よりも高く、COVID-19流行下であっても変化がみられなかった（図2）。

3. 年齢別および性別の検査数と性別陽性数の推移

男性は20歳代と30歳代の検査数が5年間で常に全体の60～70%を占めていた（図3、表2）。また、40歳代、50歳代、60歳代の検査数は、2019年と比べ、2020年と2021年では減少傾向にあったが、2022年と2023年は増加傾向であった。また、40歳代と50歳代では6月の東京都HIV検査・相談月間と東京都エイズ予防月間（11/16～12/15）の期間に増加傾向にあった（図3、表2）。

男性の陽性数については、特定の月に検出される傾向は認められなかった。年別陽性率では、最も陽性率が高かったのは2021年の1.16%（91件）、次いで2020年の0.99%（78件）であった（表2）。

一方、女性では、20歳代の検査数がいずれの年でも50%を超えていた（51%～58.7%）。30歳代では26.5%～31.1%を占めており、20歳代に次いで多かった（図3、表2）。

女性ではHIV陽性数が非常に少なく、2019年に2件、2021年と2023年に各1件のみであった（表2）。

ま と め

2019年から2023年の5年間に、新宿東口検査室から当センターに搬入された血液検体（57,628件）を対象とし、HIV検査結果の解析を行った。2020年から2022年はCOVID-19流行下で社会経済活動の大きな変容があった時期ではあったが、COVID-19流行以前の2019年の検査数と比較すると、2020年～2022年は2000件程度の減少はみられたものの、全ての年において、年間1万件以上の検査数を維持していた。2019年と2023年で男女別の検査数をみると、2023年は、男性は増加し、女性は減少していた。年代別では、男性は20代と30代で検査数の60～70%を占めており、女性は20代の検査数が50%を超えていた。陽性数は男性が圧倒的に多く、COVID-19流行時の2021年の陽性数が91件で陽性率は1.16%と最も高かった。一方で、女性の陽性数は極めて少なかった。

COVID-19流行により、全国の保健所等におけるHIV検査の中止や件数が減少する中で、行動制限等を伴う感染防止対策がとられた状況下でも、検査数は年間10,000件以上を維持し、平常時と変わらず速やかなHIV感染者の把握は達成できていたと推察される。今後もWHOの掲げる95-95-95の達成⁹⁾、HIV/AIDS撲滅のためにも、継続した無料匿名検査機関におけるHIV検査・相談事業の継続、推進が重要なキーポイントとなることが示された。

文 献

- 1) UNAIDS : UNAIDS Report on the global AIDS epidemic2022, http://www.unaids.org/Global_report.html（2024年7月12日現在。なお本URLは変更または抹消の可能性がある）
- 2) 厚生労働省エイズ動向委員会：令和4年エイズ発生動向年報, http://api-net.jfap.or.jp/2022/10nenpo_menuue.html（2024年7月12日現在。なお本URLは変更または抹消の可能性がある）
- 3) 貞升健志, 長島真美, 新開敬行, 他：東京健安研セ年報, **58**, 27-36, 2007.
- 4) 東京都保健医療局感染症対策部防疫課：エイズニューズレター2014年9月臨時増刊号
- 5) 東京都保健医療局感染症対策部防疫課：エイズニューズレター2023年12月号

- 6) 河上麻美代, 山崎貴子, 北村有里恵, 他: 東京健安研セ年報, 73, 59-63, 2022.
- 7) 厚生労働省: 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に係る新型インフルエンザ等感染症から5類感染症への移行について 令和5年4月27日
- 8) 東京都政策企画局: 新型コロナウイルス感染症に係る東京都の取組, <http://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/cross-efforts/corona/torikumi.html> (2024年7月12日現在. なお本URLは変更または抹消の可能性がある)
- 9) UNAIDS, Understanding measures of progress towards the 95-95-95 HIV testing, treatment and viral suppression targets
https://www.unaids.org/sites/default/files/media_asset/progress-towards-95-95-95_en.pdf (2024年7月12日現在. なお本URLは変更または抹消の可能性がある)

Analysis of the number of HIV tests and test results at free anonymous laboratories in Tokyo (2019-2023)

Yurie KITAMURA^a, Mamiyo KAWAKAMI^a, Miyu KOIZUMI^a, Hitoshi ITOH^a, Kenshiro KUROKI^a, Hiroyuki ASAKURA^a,
Akane NEGISHI^a, Shota YOKOTA^a, Naoya IWASAKI^a, Yukinao HAYASHI^a, Maya ISOGAI^a, Kaori KUZAWA^a,
Satoru AKASE^a, Mami NAGASHIMA^a, and Kenji SADAMASU^a
(Reviewed by Yoshihiro YASUI^b)

The number of HIV test specimens sent from the Shinjuku East Exit Laboratory Consultation Office to the Tokyo Metropolitan Institute of Public Health for 5 years from 2019 to 2023 and the test results were analyzed. The results revealed that the number of HIV tests was lower from 2020 to 2022 compared to that in 2019 before the coronavirus infection 2019 (COVID-19) pandemic, but returned to the same level as in 2019 in 2023, indicating that the COVID-19 epidemic also affected the number of HIV tests in Tokyo. The number of HIV positive people in Tokyo was also affected by the COVID-19 epidemic, comprising 370 males and 4 females over 5-years, with males having the highest positive rate of 1.16% in 2021. Although the number of tests at the Shinjuku East Exit Testing and Counseling Center tended to decline due to the COVID-19 pandemic, the center has maintained an annual number of > 10,000 tests even under conditions where infection prevention measures with travel restrictions have been implemented and plays a central role in free anonymous HIV testing in Tokyo. To eradicate HIV/AIDS in the future, HIV testing systems at free anonymous testing institutions should be improved, and counseling services should be continued and promoted.

Keywords: HIV testing, COVID-19, free anonymous HIV testing

^a Tokyo Metropolitan Institute of Public Health,
3-24-1, Hyakunin-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 169-0073, Japan

^b Aichi Institute of Public Health